

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（病院）では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

研究課題名	心臓性突然死の病因遺伝子解析	
研究機関名	金沢医科大学	
研究責任者	金沢医科大学 医学部 法医学講座	
研究期間	倫理審査委員会承認後 ~ 2023 年 3 月	
対象者	2004年4月1日～2011年3月31日までの間に、心臓性突然死で亡くなった方、あるいは心臓以外の明確な病変により亡くなった方	
当該研究の意義・目的	<p>法医解剖における内因性急死では、冠状動脈硬化症、心筋梗塞、心筋症、致死性不整脈等の心臓性突然死が約半数を占め、これまでは形態学的診断を中心に病態解析を行ってきた。これらの疾患の発症には環境因子だけでなく遺伝的素因の関与が示唆され、発症に関与するとされる遺伝子多型が報告されている。一方、法医解剖で扱われる症例では、その性質上十分な医療情報を得ることが出来ない場合や、明らかな病態が存在しない事例が少なからずある。今後、こういった症例の死因をより正確に診断するためには、分子生物学的手法を用い遺伝学的に解析することが必要である。心臓性突然死の法医解剖例を対象に遺伝子解析を行うことは、解剖による剖検所見と比較し、致死性エンドポイントが明確であり、有病群・対照群の区別を正確に行える点から、心臓性突然死発症に関係する遺伝的素因について新しい知見をもたらすことが期待できる。本研究の目的は、直接的には心臓性突然死の遺伝的素因を解明することであるが、最終的には心臓性突然死の病態を分子レベルで解明し、突然死の防止といった予防医学にも大きく貢献をすることである。</p>	
方法および研究で利用する試料・情報について	<p>法医解剖では解剖時に、診断のため血液および臓器の一部を試料として採取させていただいております。諸検査が終了し死因が判明した後、解剖時採取したリンパ節より DNA を抽出し、心疾患に関係のありそうな遺伝子の遺伝子多型について、解析させていただきます。</p> <p>血液および臓器の採取や遺伝子解析研究にかかる費用は、研究助成金などから出されますので、ご遺族が負担することはありません。また、研究に協力して頂いたことに対する金銭を含めた報酬はありません。上記期間中に得られた血液および組織を本研究のために使用させていただきます。</p> <p>研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します</p>	
外部への資料・情報の提供	共同研究先へのデータの提供は匿名化し、個人が特定不可能な状態で行い、郵送又は電子的データ送信により提供します。	
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。	
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。	
研究代表施設・代表者	金沢医科大学医学部法医学講座	水上 創
研究組織	関西医科大学法医学講座 東京都監察医務院	赤根 敦 森 晋二郎

	東京医科大学法医学講座	栗岩 ふみ
問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 医学部 法医学講座 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：(代表)076-286-2211 内線(3913)	

作成日： 2019年 3月7日